舞鶴	鳥工業高等	等專門学校	開講年度 平成28年度 (2	2016年度)	授業科目	総合英語ⅢB(Inter)			
科目基础	礎情報								
科目番号		0098		科目区分	一般 / 選択	1			
授業形態		授業		単位の種別と単位	数 履修単位:	2			
開設学科		一般科目	<u> </u>	対象学年	3				
開設期	後期			週時間数	4				
教科書/教		Ouest S	Stage 4(エスト出版) 参考書:総合:	英語 Forest(桐原書店)					
担当教員		- t -	孝,藤田 憲司	, (121 · 0 · 0 · 0 · (113)·3 · E					
到達目			- ,						
英語のつ 既習の語 高等学校	づりと音と 彙を定着さ 学習指導要	領に沿ったゞ	¥できる。 所たに300語程度の語彙を習得し、表現 な法事項や構文を定着させ、表現活動に ンベルの長文を読むことができる。	活動に応用できる。 応用できる。					
ルーブリ	リック								
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	目安	未到達レベルの目安			
評価項目1			教科書の英文を理解し、適切な発音、抑揚、リズム、区切りで音読できる。	教科書の英文の要旨を理解し、相 手に伝わるように音読できる。		教科書の英文を十分に理解、音読 できない。			
評価項目	2		口語および筆記で発信された情報 を、迅速かつ的確に、理解するこ とができる。	口語および筆記で を、実践的な適応 程度に、理解する	性を損なわない	口語および筆記で発信された情報 を、十分に理解することができず 、実践的な適応性に欠ける。			
評価項目	3		文法、単語を活用して、自分自身 や身の回りのことについて、正し く書いたり、話したりすることが できる。	文法、単語を活用して、自分自身 や身の回りのことについて、ある 程度、書いたり、話したりするこ とができる。		自分自身や身の回りのことについて、書いたり、話したりするために、文法、単語を十分に活用できない。			
学科の	到達目標」	項目との関	月孫 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —						
(E)									
教育方法	注 等								
概要	Δ 1	れる絶対	学習したことをさらに発展させ、総合的 対的な量を増やすことに尽きる。予習・ ション能力を身につける。	な英語力を身につけ 復習・只管音読・5	けることを目的とす は管筆写・多読を通	rる。英語力のアップは、英語に触 値して、英語による総合的なコミュ			
新出単語、 授業の進め方・方法 本文の内容 音声を聞き			容について簡単な情報交換 、語句についての発音と意味を確認する。 容理解、設問に答える。 き、音読練習をする。 を確認し、練習問題に取り組む。						
		積極的に	必ず、英和辞典を持ってくること。 授業参加すること。 習は必須。						
注意点			教員名 松井・荒川・藤田・ケイ 研究室 B-304・A-301・A-303・B-306 内線電話 8902・8906・8900・8907 e-mail: matsui・arakawa・k.fujita・jonathan それぞれに@maizuru-ct.ac.jpをつける						
福業=1:	西	c-iiiaii;	matsur arakawa kitujita i jolidti	TIGHT CALCALICE	maizuru-ct.ac.jp	د ۱۷۷ م			
授業計画	<u> </u>	\ _{\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\}	拉类山穴	- Ix	田ブレルが上口坪				
		週	授業内容		週ごとの到達目標				
		1週	シラバス内容の説明 9. 人物 (芸術)		英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の記 彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定 させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むる とができる。				
後期	2. 10	2週	9. 人物(芸術)	日の日本	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度 彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を診 とができる。				
	3rdQ	3週	10. 心理・言語	TAN ELL YWANTE TO MAN	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程 彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文 させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を とができる。				
		4週	11. 科学・自然	THE CHIEF THE PARTY.	英語のつづりと音。 既習の語彙を定着。 彙を習得し、表現》 高等学校学習指導 きせ、表現活動に	との関係が理解できる。 させ、半年で新たに300語程度の語 舌動に応用できる。 要領に沿った文法事項や構文を定着 応用できる。 つけ、教科書レベルの長文を読むこ			

	5週	11. 科学・自然		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高き学、表現活動に応用 させ、表現活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	6週	12. 科学・環境		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる させ、読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	7週	12. 科学・環境		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	8週	後期中間試験					
	9週	13. 生活・健康		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる させ、表現活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	10週	13. 生活・健康		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用でき 表東活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	11週	14. 人生・教訓		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
4thQ	12週	14. 人生・教訓		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	13週	15. 科学・学問		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる 大読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	14週	15. 科学・学問		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	15週	15. 科学・学問		英語のつづりと音との関係が 既習の語彙を定着させ、半年 彙を習得し、表現活動に応用 高等学校学習指導要領に沿っ させ、表現活動に応用できる 長文読解力を身につけ、教科 とができる。	で新たに300語程度の語できる。 た文法事項や構文を定着。		
	16週	後期期末試験					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル 授業週		

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	英語	英語運用の 基礎となる 知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	前1,前2,前3,前6,前前1,前前前1,前前前15,前前前113,前前114,後12,前前15,後1,後後後11,後後後11,後後後後113,後後後後113,後後後後113,後後後後113,後後後113,後後14,後15

				高等学校学習指導 要 習得する。	要領に示されている	5レベルの文法事項	が構文を	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前前 7,前9前 10,前11,前 12,前13,前 14,後2,(4,0 14,後4,後 15,後6,後 10,後 12,後 11,後 11,後 11,後 11,後 11,後 11,後 11
評価割合									
	試験		発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	·
総合評価割合	70	()	0	0	30	0	100)
基礎的能力	70	()	0	0	30	0	100)
専門的能力	0	()	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	()	0	0	0	0	0	